

Jアラート発信時の対応について

ミサイルが発射され北海道内への影響が予想される場合は、国からのミサイル発射情報や屋内避難の呼びかけ等の緊急情報がJアラート（全国瞬時警報システム）により伝達され、その情報が携帯電話・スマートフォンの緊急通報メールや防災行政無線等を通じて伝達されますので、落ち着いて直ちに以下の行動をとってください。また、これらの緊急情報にあわせて、テレビ、ラジオの報道情報等にも注意してください。

教職員は、正確な情報収集を行い、大学構内外の安全状況を確認し、安全確保に務めるとともに、落下情報等についての情報を確認できるまで避難を継続してください。また、発射の時間が登下校時間帯の場合には、安全が確認されるまで登下校やスクールバスの運行を一時見合わせます。

1.屋外にいる場合

- (1) 近くの頑丈な建物の中に避難する。
- (2) 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。

2.屋内にいる場合

ドアや窓は全て閉め、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

3.授業中の場合

- (1) 教室内に窓がある場合、窓から離れる。（廊下へ出る等）
- (2) 屋外の場合は、授業を中断し、速やかに校舎の中に避難する。
- (3) 校内放送等により大学から指示がある場合には、それに従ってください。

4.スクールバスの中にいる場合

- (1) スクールバスを止めて近くの建物（できれば頑丈な建物）の中に避難する。周囲に避難できる建物がない場合は、バスから離れて地面に伏せ、頭部を守る。
- (2) スクールバスから出ると危険な場合には、バスを安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、避難解除の指示があるまで待機する。

5.公共交通機関（JR・バス等）を利用している場合

公共交通機関の乗務員等の指示に基づき行動してください。

6.ミサイルが着弾した場合の行動例

- (1) 口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋又は風上に避難する、
- (2) 換気扇、エアコンを止め、窓を閉め、テープ等があれば目張りをして室内を密閉する。
- (3) 弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して、情報収集に務めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動してください。

7.その他

- (1) 授業や定期試験を平常通り行うことができないと判断された場合は、臨時休講などの措置をとることがあります。特別措置の内容については、UNIPAでお知らせします。
- (2) 弾道ミサイルが落下する可能性がある場合に国民が取るべき行動については、内閣官房国民保護ポータルサイトに掲載されています。また、内容については、随時更新されていますので各自で確認してください。

内閣官房国民保護ポータルサイト

- [内閣官房国民保護ポータルサイト](#)
- [武力攻撃やテロなどから身を守るために（内閣官房パンフレット） \[PDF ファイル／ 2.5MB\]](#)
- [弾道ミサイル落下時の行動について（その1） \[PDF ファイル／222KB\]](#)
- [弾道ミサイル落下時の行動について（その2） \[PDF ファイル／457KB\]](#)
- [弾道ミサイル落下時の行動に関する Q&A \[PDF ファイル／189KB\]](#)

関連情報

- [全国瞬時警報システム\(Jアラート\)（総務省消防庁）](#)
- [緊急速報メールを受信できるかの確認方法と受信できない場合の対策（総務省消防庁） \[PDF ファイル／248KB\]](#)